

1 基本情報						
施設名又はグループ名		指定管理者名及び団体概要				
夢の島公園・夢の島熱帯植物館		(指定管理者名) アメニス夢の島グループ (団体の概要) 代表企業：株式会社日比谷アメニス（統括管理） ○株式会社グローバル(植栽管理他) ○株式会社日比谷花壇(マーケティング・イベント他) ○アズビル株式会社(設備保守・警備) ○日建総業株式会社(施設・清掃) ○株式会社エコルシステム(情報管理他) 計6社による連合体				
指定期間		H 28 . 4 . 1～R5 . 3 . 31 (7年間)				
2 施設名		3 収支(単位:千円)				
夢の島公園・夢の島熱帯植物館					公園別支出額	
		項目	令和4年度 金額	令和3年度 金額	令和2年度 金額	
		収入 計	294,940	308,741	305,527	夢の島公園 : 77, 292, 917 夢の島熱帯植物館 : 217, 647, 083
		内訳				
		指定管理料	280,763	308,741	305,527	その他収入 : 14, 177, 000 (光熱水費等補填額、キャッシュレス精算)
		利用料金	0	0	0	
その他収入	14,177	0	0			
支出 計	294,940	308,741	305,527			
収支差	0	0	0			
4 管理運営の概要						
東京2020大会が昨年度終了し、アーチェリー大会の決勝会場となった競技場も再開。数年振りに全面開放となった。新たに「わくわくおさんぽアートフェス」を開催した他、SDGsを冠に掲げた「植物交換会」など、公園が地域の核となり、地域活性化に繋がる事業を実施した。また、大会のレガシー施設のアーチェリー場と連携したスポーツイベントなど公園の魅力を提供できた。一方、植物館は引き続き感染症に留意した運営とし、団体利用の制限などを行い、大型イベント（オータムフェスタ）は未実施したが、3年ぶりとなる夜間開館の開催やコンサートの再開など、コロナ禍で実施したことやコロナ前の利用促進を融合した運営に取り組んだ。（入館者数は10万人に迫る）						
5 管理状況（維持管理）						
公園 ：樹林地計画は、数年前に大規模被害を受けた樹木（ユーカリ）のうち被害翌年に強剪定を実施して大きく樹高を下げた高木の樹木診断及び大径木管理を計画。ユーカリは倒木リスクが大きく中長期的に樹高を下げる管理作業を行い、台風シーズンや強風雨時にも落枝や折枝の被害も少なく抑えられた。その他、施設管理では、大会前にLED化に一新された公園灯の一部が不点灯となり調査を実施。誘導雷の影響による電源装置の故障や漏電ブレーカーの更新を行った他、給水設備では、昨年度末よりメーターの数値が増加したため、埋立地特性による不等沈下による漏水を疑い、試掘や完全な機能が損なわれた古い止水弁の更新しながら水圧ゲージを付けて調査し、漏水箇所を確認し復旧するなど、快適な施設利用に繋げている。 植物館 ：大温室の常設展示の他、バックヤードの多様な植物を効果的に展示を入替え、いつ来ても魅力ある熱帯の景観を提供できた。さらに、企画展示と連動したプランツの配置や小笠原の固有種などの育成による普及啓発を継続。施設は老朽化が進んでいるため、温水配管、シャッター、ポンプ、映像ホール施設など、部材の交換やオーバーホールを行い、施設の長寿命化に努めた。東京都工事もトイレ改修工事など3件が着工し、利用者へのアナウンスや定例会に出席して利用者の声を反映した工事に努めて頂き、無事竣工となった。なお、水道管の建物接続個所の沈下による損傷が原因で植物館の水道メーターの使用量が増を示したが、適宜水光熱量の確認を行っていたことで、目視では困難な漏水を発見できた。						
6 利用者アンケート結果						
実施方法：						
施設名	総合満足度	植栽管理	施設の清潔さ	安全・安心	職員の対応	※植物館の評価は4段階評価であり、1.25を掛け5段階評価の数値に補正
夢の島公園	4.7	4.7	4.5	4.6	4.8	大会後の整備も終了し、公園を核とした地域回遊型イベント「新木場&夢の島わくわくお散歩アートフェス」を開催。地域活性とともに夢の島の魅力をお伝えできた。また、SDGsにつながるイベント植物交換会やアーチェリー場と連携したスポーツイベントなども評価されている。
夢の島熱帯植物館	4.5	4.5	4.3	4.5	4.5	都工事に伴う仮設トイレの利用など一般的な評価が低くなったと考える。それでも、年間全期間を通じて入館者数は増大し、特に10月の入館者数は17年来の最大数となった。SNSの活用、LIVE配信の実施など、きめ細かい情報発信が多くの方を引き寄せることに成功したと考える。
	(3.6)	(3.6)	(3.4)	(3.6)	(3.6)	
7 入園者数の状況（単位：人）						
施設名	当該年度	分析				
夢の島公園	534,510	閉鎖区域もなく数年振りに通常利用となった。競技場の再開し、公園内施設（アーチェリー場・BumB東京スポーツ会館など）も稼働。公園を核として地域回遊型イベントの実施など多くの方にご利用頂いた。				
夢の島熱帯植物館	98,112 (開館309日)	団体予約の人数制限など感染症対策を継続しつつも臨時休館などは無く、3年ぶりの夜間開館の開催や小笠原支庁と島の暮らしや風景をリアルタイム映像で視聴する連携イベントなど、大いに賑わった。SNSの効果で若い方の利用も目立ち、10万人弱の方にご来館頂いた。				
合計	632,622					

施設名 夢の島公園

指定管理者名 アメニス夢の島グループ

アートフェス&植物交換会

■地域初の試み「新木場&夢の島わくわくおさんぽアートフェス」開催

「目的①若手芸術家に作品発表の場を提供」、「目的②コロナ禍により中断していた新木場&夢の島近隣企業・施設や地域連帯の再強化」「目的③『循環』をキーワードに新木場&夢の島の地域性を再発見・発信」を掲げ、新木場から夢の島にまたがる施設・企業8会場でアート作品を約1か月展示し、各所で関連イベントを開催。

§アートフェス開催前(4/1~)

- ★近隣施設や企業へよびかけ実行委員会設立。
- ★資材や会場の提供、イベント開催など打ち合わせ。
- ★土地の歴史リサーチと発信も視野に入れ準備。



アートフェス委員会打合せ



木材会社提供の端材を回収 芸術家や小学校に提供



資材や場所を活かした作品展示

運営でイベントチラシ作成・各所配布・掲示

§アートフェス開催(10/18~11/20)

- ★安全を考慮し会期一週間前から段階的に作品搬入・設置開始。
- ★会期中は協賛企業と連携し屋外でワークショップイベント開催。
- ★開始と終了時に屋外コンサート等で密にならない集客。
- ★デジタルスタンプラリーの導入で繰り返しての来場を促す。



新木場夢の島の歴史リサーチ成果



フォトゲイニング開催で スポーツイベント需要層へも広報



オープニングのサンパレード



奄美大島イベント



週末のワークショップ



【四つ折りのMAPを作成】
 ・新江東清掃工場や東京夢の島マリーナ、木材合板博物館など全8会場の情報掲載。関連イベントや近隣飲食店掲載。
 ・8会場でスタンプを集めた参加者には抽選で景品を贈った。

アート作品は屋内外に総勢18名の新進気鋭作家作品や小学校団体の作品約52点が展示され話題を呼んだ。



公園に設置された多数の屋外彫刻



§植物交換会

- ★辰巳団地自治会ヒアリングを経て園芸不用品回収。
- ★近隣施設、企業、個人へも提供を依頼・呼びかけ。
- ★ボランティアを募り準備作業の植え替え実施。
- ★夢の島公園グリーンパークにて植物交換会を春と秋の2回(計7日間)開催。第一回は873名、第二回は1314名の参加となった。

■「植物交換会」及び「不用品園芸資材のリサイクル」の取り組み

身近なSDGsとして園芸リサイクル活動を展開するため「植物交換会」を企画。住民の高齢化により園芸活動が困難になった辰巳団地を中心に、近隣施設、企業、個人宅より回収した不要園芸品や植物を夢の島公園で預かり欲しい方へ譲渡するイベント。収集期間や余り苗植え替えボランティアをのびのびの準備作業を経て2回(計7日間)の開催となり、多くの方にご参加いただいた。



辰巳団地へ訪問、園芸不用品回収



第一回 交換会の様子



ボランティア5名で 98鉢植え替え



第二回 交換会の様子 (アートフェス関連イベント)

安全・安心への 取り組み

§ 維持管理作業



漏水箇所の特定と復旧



園路灌水の排水対応



蜂の巣の撤去対応



BBQ椅子修繕

- 利用者第一で適切な維持管理作業や点検を実施。
- 突発的な案件は職員で対応。

§ 防災訓練&利用者指導

- アーチェリー場と連携した防災訓練を実施。
- 迅速な利用者指導や不審者対応で公園の安全を保つ。



アーチェリー場にて消火訓練



いこいの家侵入者の通報



泥酔者対応(パトロール強化)



放置自転車や釣り禁止呼びかけ

地域・企業・学校連携

§ 地域連携イベントの充実

- 1dayボランティア鉢の植え替え開催。(関連トピック: § 植物交換会)
- 毎年の夏花花壇の植え付けボランティア。



1dayボランティア



夏花花壇ボランティア

- 近隣企業やアーティストと連携し、公園内グリーンパークにてワークショップイベントを開催。(関連トピック: § アートフェス開催)



かんなくずプール



木のともだちを作ろう!

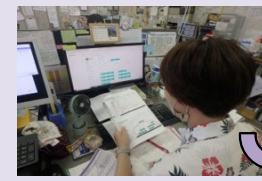


ミニアーチェリー



ブラインドサッカー

- アーチェリー場と連携してスポーツイベントを開催



競技場利用受付の再開



BBQ場管理

- § 公園利用管理 ■BBQ場管理の継続と競技場の利用再開。オンライン予約システムなど整備。

§ その他トピック

- 学研と共同の夏休みイベントで、AIアプリコンテンツを利用し公園プロモーション。新木場連絡会を通じ清掃ボランティアなどの活動に参加。また、中学生の職場体験の受け入れなどを積極的に行った。



中学生の職場体験受け入れ



職員が参加の駅前清掃



夏休みイベント「ナニコロニー」

施設名 夢の島熱帯植物館

指定管理者名 アメニス夢の島グループ

夜間開館の再開 & 小笠原諸島展

S 夜間開館来館誘導

- ★Twitter、Instagram、LINEにてイベント告知。
- ★LIVEで夜間開館の準備の様子やおすすめ植物を紹介。YouTubeにて配信。(視聴者数311回)



ドームの職員が中継で植物紹介



カフェの仮設スタジオを拠点に Youtube生配信

S 夜間開館開催(7/23・7/24)

- ★夜に咲く花を中心にスタンプラリーを配置。
- ★特別なライトアップで非日常感を演出。
- ★限定イベントで観客を動員。



夜間開館中の植物館外観



地元の食堂キッチンカー設置

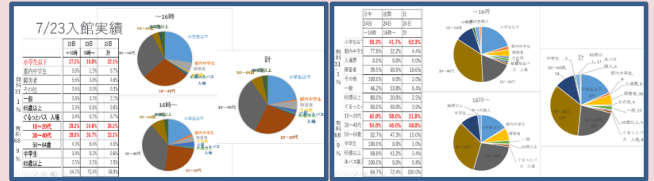


特別イベント対応



夜間のおすすめ植物展示

23日は10～20代が25%を超え、24日は60%に至る。SNSやYoutube配信を利用した宣伝効果が見えた。



S 小笠原諸島展(1/17～4/2)

- ★東京都小笠原支庁、小笠原村観光局と連携し小笠原の資料をお借りして展示。また、植物館の保有する小笠原の植物を特集・展示。
- ★中継映像イベント誘導にオリジナルCMを作成。都心のモニターを借りて放映し広く告知を行った。
- ★当日は映像ホールにて小笠原現地とつなぎ、リモートにて小笠原諸島の様子を来館者へお伝えした。

■東京都が誇る世界自然遺産、小笠原諸島の企画展・中継紹介イベントを開催

独特な文化や生態系を、絶景の島々や美しい自然の写真で紹介した。バックヤードにて保有する小笠原固有の植物もイベントホールで展示した。また今回は小笠原で活躍する東京都レンジャー、通称「都レンジャー」についても言及。3/4(土)3/5(日)開催の関連イベント「都レンジャーと行く！小笠原諸島ってどんな島？」では館内映像ホールを講演会場として、都レンジャーから小笠原の生活や文化を紹介していただいた。また、現地からの中継配信での小笠原固有種などの解説も大変ご好評いただいた。



企画展示室の小笠原諸島展



小笠原都レンジャーについて



常設のCドーム小笠原エリアを特集した地図を配布



イベントホールでは普段バックヤードにある固有種も展示

・現地から中継「都レンジャーと行く！小笠原諸島ってどんな島？」

- ★15～30秒のイベント宣伝動画を作成し、渋谷スクランブル交差点、新宿駅西口、都庁サイネージにてCM宣伝。
- ★当日は小笠原現地とZOOMにて繋がり島の様子をレポートしていただいた。



スクランブル交差点のサイネージで宣伝



小笠原父島とZOOMをつないだ講演会の様子

その他のイベント

§ 植物館内イベント



前庭におばけカボチャを設置した
ハロウィン・パーティー



植物館で育てたミツバチの
内検体験会



フラワーアレンジメント教室



ウィークエンドコンサート
再開

§ アウトリーチ活動



■他施設と連携し参加者のぬいぐるみを回収。植物館におとまりさせる設定のイベントで来館促進。
(夏・冬2期で開催)
■植物館の外へ赴くイベントで地域貢献・連携強化。



ぬいぐるみのおとまり会



正月の新木場駅前装飾



江東湾岸まつり出店

維持管理

■下記他、映像ホールスクリーンカーテン交換修理、使用有効期限を迎えるAEDの交換、授乳室mamaroの設置、トイレ工事に伴う仮設トイレ設置など、利用者の安全と利便性を第一に考えた施設維持・修理を行った。

§ 都工事対応



客用トイレ改修工事中

§ 館内維持



熱供給停止時の室温対応

§ 館内修繕



高温水系統バルブ交換



植物館敷地内漏水復旧



客用トイレ改修工事後



月2回改修工事定例会



高温水系統バルブ交換
(アスベスト検査)



栽培温室C棟育成棚交換

運営・協働

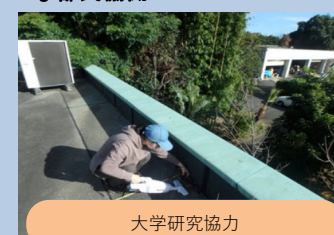
■毎年の博物館学芸員実習生や中学生職場体験受け入れ、小学校と連携した絵画コンクールや科学大賞の開催の他、明治大学農学部農学科応用植物生態学研究室の学生による種子風散調査に協力で学生支援を行った。また、コロナ禍以降縮小気味だった植物館ボランティアの活動・協力体制を整え、ボランティアガイドや育てた月見草のプレゼント(関連トピック: §夜間開館開催)を再開。また、Youtubeチャンネルを利用し新たにラジオ風動画配信やHPリニューアルで植物館情報発信を行った。

§ 管理運営



ゆめのしまラジオ配信開始

§ 都民協働



大学研究協力



学芸員実習生受け入れ



夜間開館時ボランティアガイド



HPのリニューアル



絵画コンクール・科学大賞開催



中学生職場体験受け入れ



月見草のプレゼント